



目次

1. Placemaking Week in 宇都宮 2022

2. ぷれみヤトーク #02

宇都宮コラム

1. Placemaking Week 宇都宮 2022 宇都宮を舞台にプレイスメイキングを語り合う！

2022年2月17日に、宇都宮市中心市街地をテーマとして、宇都宮で暮らす人やゆかりのある人、まちづくりに関わる人々にに向けて、中心市街地で人の居場所をつくるヒントを届けるオンラインイベント「Placemaking Week 宇都宮 2022」が開催されました！ここでは、日本各地で実践しているゲスト登壇者から、中心市街地再生プロジェクトを紹介してもらった「全国中心市街地再生ケーススタディ」の内容をお届けします！

宮城県石巻市



刈谷智大さん
 (株)街づくりまんぼう

地元へ寄り添う姿勢が最も大事！

津波によって大きな被害を受けた石巻市。中心市街地の元からの魅力であるマンガや川を活かしながら、震災後移ってきた人々の出店をサポートする取り組み、空き地や空き店舗を活用したまちづくりが行われています。

大阪府堺市泉北ニュータウン



宝楽陸寛さん
 (特非)SEIN

まちの中には繋がりがあるようでない。そこに横の軸を通してあげることが大事！

泉ヶ丘駅前のいずみがおか広場で行われた「つながる Days」。広場をおしゃれに使いこなすイベントを開催したり、出店を行うプランナーを募り、その人たちから生まれる繋がりからコミュニティを形成しています。

山口県宇部市



宋俊煥さん
 山口大学准教授

地道に現場で動いている人たちと、その人たちの空間づくりが重要です！

低未利用地が多くまちなかに人がいない課題を解決するため、学生と民間企業、行政が共にまちづくりを行なっています。低未利用地をマネジメント・コーディネートすることで地域住民との協力関係を作り出しています。

宇都宮コラム 馬車道ヤード報告

東武馬車道通りにて社会実験が開催され、連日多くの方が参加しました！

2022年3月24日～27日に、東武馬車道通りで社会実験「馬車道ヤード」が開催されました。馬車道ヤードは、宇都宮市と宇都宮大学が共同で「道路が自分の居場所になり、居心地の良い空間をつくる」ことを目的に行いました。

普段は車が通る道路に人工芝を敷き、段差をつくり座れる場を設置することでいつもと雰囲気が変わり、開催日には家族連れからお年寄りまで多くの方が遊び場や休憩場所など思い思いの使い方で利用されていました。

東武馬車道通りにお店を構える方からは「早く実行してほしい。実現するのが楽しみ。」という期待の声が上がりました。今後は、どのような道路空間にしていくか沿道の方々と交えて議論していくことが必要になりそうです。



馬車道ヤードのポスター



当日の様子

2. プレミアムトーク #02

今後の宇都宮市中心市街地について宇都宮プレイヤーが議論！

プレミアムトークとは、プレイスメイキングうつのみやのプロジェクトの一環として、全国、そして宇都宮の様々な専門家やプレイヤーをゲストにお招きし、プレイスメイキングをより深く学ぶトークイベント。2021年3月の「プレミアムトーク #01| 中心市街地のプレイスメイキングのはじめかた」に引き続き、2022年2月17日(木)17時~19時に「プレミアムトーク #02| 宇都宮プレイヤーが議論する今後の宇都宮中心市街地」を開催。ここでは、地元プレイヤーと共に今後の宇都宮市中心市街地をプレイスメイキングを通してどのように再生できるのかについて議論した様子を、ギュッと凝縮してお届けします！

Q. 地元プレイヤーが考える宇都宮市中心市街地の課題とは？

登壇者



安藤英夫さん
宇都宮まちづくり
推進機構



泉山壘威さん
ソトノバ共同代表 / 日本大
学理工学部建築学科助教



塩田大成さん
ビルスタジオ



宋俊煥さん
山口大学准教授



田邊優里子さん
オンデザイン



間中美徳さん
宇都宮市役所
総合政策部

時間をどのようにマネジメントしていくか

安藤 イベントのような短期間の仕掛けだけでなく、常設の場所も仕掛ける中で、時間をどのようにマネジメントしていくかを考えないといけないと思います。

泉山 それぞれのアクションのタイミングを全体的に計画すると、街全体がつながっていくのではないかと考えています。

宋 宇都宮において、プレイスメイキングの基盤づくりはある程度できていると感じたので、これらをベースに大きな公共投資事業がある場合には、時間軸に合ったビジョンづくりをセットで考えるべきなのかなと思いました。

プレイヤーを輩出するしくみと行政との関わり方

塩田 宇都宮のまちなかは、消費に偏りすぎではないかなと思います。まちなかでも、ヒト・モノ・コトを生み出す拠点となる生産型の施設を増やすことも大事で、しかしここでいう生産型の施設はチャレンジショップやインキュベーション施設ではありません。またその中でも、行政とどのように連携してつくっていくかを考えるべきかなと思います。

泉山 対話してこれやりたいという旗に共感できる人がいることがチームにとって大事だと考えていて、その人たちとどう出会っていくかを考えたときに、まちなかに生産型の施設があることが大事なのではないかなと思います。

宋 “こういうことをやったらいいね” を実際に行動に移すときには、リスクがつきものだと思います。多様なアクティビティを起こすことは良いことだと思いますが、その時に自分でリスクを負ってでも投資してよいと思えるプレイヤーやある程度財力のあるプレイヤーの存在が重要であると考えます。

プレイスメイキングうつのみや構成団体

宇都宮市
中心市街地
活性化協議会

ソトノバ
sotonoba.place



SNS

宇都宮市 HP
(プレミヤ)

発行年月：
2022年3月

発行元：
プレイスメイキングうつのみや

編集：
日本大学理工学部建築学科
都市計画研究室(泉山ゼミ)
溝口萌・江坂巧
竹中彩・橋奏絵・福井勇仁



▲ 詳しくはこちらから